

SHOWA

第 90 期

報 告 書

平成23年4月1日 ▶ 平成24年3月31日

 昭和鉄工株式会社
Showa Manufacturing Co.,Ltd.

証券コード：5953

株主の皆様へ

ごあいさつ



代表取締役社長

山本 駿一

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループは平成24年3月31日をもちまして、第90期を終了いたしましたので、ここに事業の概況並びに決算の結果につきましてご報告申し上げます。

平成24年6月

社長インタビュー ～中期経営計画「リカバリー130」の推進と新たな挑戦～

当社グループが、今後も『信頼され選択される企業集団』であり続けるために、「差別化した新製品・サービスの拡販」と「利益確保のための構造改革」に取り組みます。

Q 第90期の総括をお願いします。

当連結会計年度におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による悪化から持ち直しの動きが見られましたが、欧州債務危機の一層の深刻化や歴史的な円高による景況悪化の経済構造が輸出や国内外の設備投資に影響を及ぼし、さらに原子力発電所の事故に伴うエネルギー制約や原油価格の高騰などもあり、総じて厳しい状況で推移しました。

このような情勢の中で当社グループは、中期経営計画「リカバリー130」の2年目の年として、重点課題の一つである「差別化した新製品・サービスの拡販」に努めるとともに、固定経費の徹底した削減等に取り組んでまいりました。



Q 第90期の業績についてお聞かせください。

当連結会計年度の当社グループの売上高は110億8千4百万円（前連結会計年度比6.4%減）、受注高につきましては108億2千8百万円（同比5.4%増）となりました。

損益面では、固定経費の削減や原材料費の低減等に努めましたが売上高の減少もあり、経常利益は2千3百万円（前連結会計年度比72.7%減）となりました。

また、特別利益に固定資産売却益1億4千6百万円、特別損失に事業構造改善費用等6千6百万円を計上した結果、当期純利益は7千3百万円（前連結会計年度比91.4%増）となりました。

区 分	第86期 (平成19年度)	第87期 (平成20年度)	第88期 (平成21年度)	第89期 (平成22年度)	第90期 (平成23年度)
受 注 高(百万円)	16,734	13,190	11,308	10,269	10,828
売 上 高(百万円)	14,520	13,813	11,116	11,837	11,084
経 常 損 益(百万円)	116	16	△ 526	85	23
当期純損益(百万円)	44	△ 126	△ 1,636	38	73

Q セグメント別の業績をお聞かせください。

[機器装置事業]

機器装置事業につきましては、空調機器では原子力発電所向け特殊空調機の受注、熱源機器では「業務用エコキュート」の受注・売上が拡販努力により好調に推移しました。また、環境機器のうち「空気清浄機」の売上が順調に推移しました。

その結果、設備工事を含めた当事業の売上高は78億8千2百万円（前連結会計年度比9.2%増）、受注高は79億7千4百万円（同比14.3%増）となりました。

[素形材加工事業]

素形材加工事業につきましては、鋳造品は発電機向けガスタービン関連部品の売上が順調に推移しましたが、景観製品は前年度のような補正予算の前倒し受注という特殊要因がなく、東日本大震災の影響で予定していた案件の発注遅れ等もあり、受注・売上ともに減少しました。

その結果、当事業の売上高は19億7千7百万円（前連結会計年度比17.3%減）、受注高は20億9百万円（同比16.1%減）となりました。



株主の皆様へ

[サーモデバイス事業]

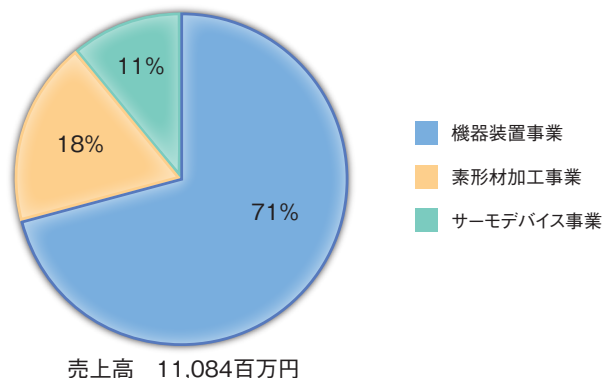
サーモデバイス事業につきましては、前年度受注案件は順調に出荷・売上計上し、さらにグローバル化によるフレキシブルな生産体制構築のため、韓国の合弁会社への生産移管を行いました。液晶パネルメーカーの設備投資循環による縮減の影響もあり低調に推移しました。

その結果、当事業の売上高は12億2千5百万円（前連結会計年度比45.0%減）、受注高は8億4千4百万円（同比5.8%減）となりました。

セグメント別の売上高・受注高

	売上高	受注高
	金額（百万円）	金額（百万円）
機器装置事業	7,882	7,974
素形材加工事業	1,977	2,009
サーモデバイス事業	1,225	844
合計	11,084	10,828

セグメント別の売上高構成比



Q 今後の見通しをお聞かせください。

今後の見通しにつきましては、新興国の成長に下支えされ輸出も徐々に上向き、国内においても震災復興支援など各種政策により緩やかな回復基調が期待されるものの、欧州の債務問題等を背景としたさらなる海外景気の減速に加え、原油価格の高騰や電気料金の値上げなど懸念材料も多く、市場環境は予断を許さない状況が続くものと予想されます。



Q 中期経営計画の3年目に当たる平成24年度の取り組みをお聞かせください。

平成24年度は、中期経営計画「リカバリー130」の最終年度（平成25年度）へ橋渡しする重要な1年であると位置づけております。

中期経営計画の基本方針である「ベースの安定化」及び「新規事業の足掛かりの構築」を進めるために、重点課題である「差別化した新製品・サービスの拡販」と「利益確保のための構造改革」に取り組んでまいります。

また、これらを推進していくうえでの優先課題として、財務体質の改善、CSRの推進、リスクアセスメントの充実及び人材の活性化に注力してまいります。

Q 株主還元の考え方についてお聞かせください。

当社は、株主の皆様への安定的な配当の継続を最重要課題と位置づけており、加えて企業業績のほか、今後予想される競争激化に耐えるための経営効率化、新規事業進出に備えるための内部留保の充実を勘案し、配当を行うことを基本方針としております。

第90期の期末配当につきましては、当期の業績、今後の経営環境の見通し等を勘案したうえで、1株につき3円とさせていただきます。

Q 最後に株主様にメッセージをお願いします。

環境の変化に迅速に対応できる機動的な体制の確立と的確な経営判断により、企業倫理に則った公正で誠実な事業活動を推進し、これからも『信頼され選択される企業集団』となりうるよう、全力をつくし業績の向上と新たな成長分野へ邁進していく所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。





当社グループは、創業130周年に当たる第92期（平成25年度）までに「ベースの安定化」及び「新規事業の足掛かりの構築」を目指し、中期経営計画『リカバリー130』を推進しております。



第91期（平成24年度）につきましては、下記の重点課題に取り組んでまいります。

重点課題 RECOVERY130 数値目標 RECOVERY130

1. 差別化した新製品・サービスの拡販

■機器装置事業

- 環境・省エネをキーワードにしたさらなる差別化
 - ・「業務用エコキュート」「タフセーバー」「潜熱回収ヒーター」をコアに給湯システムを拡販
 - ・「ヒートポンプ式リタンエアデシカント空調機」のスペックイン活動の強化

■素形材加工事業

- 橋梁用防護柵のリニューアル市場向け補修対応製品の差別化
- 設備導入によるガスタービン分野の精密鋳造品等の高付加価値化

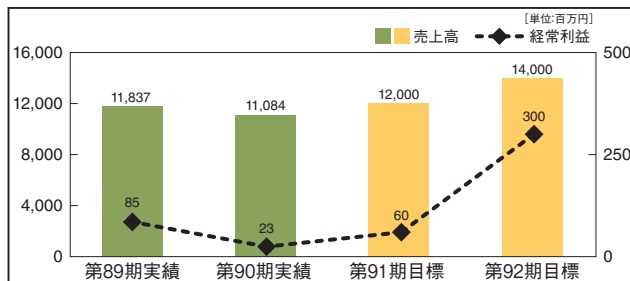
■サービスエンジニアリング事業

- メンテナンス部門と工事部門との統合による相乗効果の創出
- 営業・販売・サービス体制の強化によるストック市場の掘り起こし

■第92期（平成25年度）

- 連結売上高130億円以上
- 連結売上高経常利益率2%以上

区分	第89期実績 (平成22年度)	第90期実績 (平成23年度)	第91期目標 (平成24年度)	第92期目標 (平成25年度)
売上高(百万円)	11,837	11,084	12,000	14,000
営業利益(百万円)	86	33	60	400
経常利益(百万円)	85	23	60	300
売上高経常利益率(%)	0.7	0.2	0.5	2.1



2. 利益確保のための構造改革

■新しい収益源の確立

- 総合開発部と各事業のソリューション部との連携強化による製品開発及び新規事業創出の推進

■サーモデバイス事業の再構築

- 固定費のミニマム化とフレキシブルな生産体制の確立
 - ・OEM（韓国）によるコストダウンの実施
 - ・国内における高付加価値なエンジニアリング事業への転換

優先課題 RECOVERY130

■財務体質の改善

- 在庫削減・経費削減の徹底

■CSRの推進

- コンプライアンス・環境に対する意識の醸成

■リスクアセスメントの充実

- 品質の向上、品質保証・生産体制の強化、安全・衛生活動の推進

■人材の活性化

- 人事制度の改正、技術継承の取り組み、人材育成機会の充実



■ 一般社団法人日本ガス協会「平成24年度技術賞」受賞

Genebo

ジェネライト廃熱投入型潜熱回収ヒーター

ジェネボ



平成23年10月1日より販売を開始しましたジェネライト廃熱投入型潜熱回収ヒーター「Genebo（ジェネボ）」が、一般社団法人日本ガス協会の平成24年度技術賞を受賞しました。

同賞は優れた燃焼技術開発によりガス機器普及に貢献した製品を選定し表彰する権威あるもので、今回の受賞製品は、東京ガス株式会社・大阪ガス株式会社・東邦ガス株式会社・ヤンマーエネルギーシステム株式会社との共同開発によるものです。

これからも環境・省エネをキーワードにした製品開発を推進し、お客様と社会に最適なシステムを提案してまいります。

■ 日刊工業新聞社設立「100年経営の会」に入会

平成23年10月17日、日刊工業新聞社は長期持続経営を目指す企業のネットワーク組織「100年経営の会 会長：北畑隆生氏（元経済産業事務次官）」を設立しました。

「100年経営の会」は、過去に多くの危機を乗り越えて成長を続けてきた長寿企業の経営手法を学び合い、企業の経営力向上と産業界の持続的発展を目指す組織であり、当社も明治16年（1883年）の創業以来、長期持続経営を実現してきた企業として本会の趣旨に賛同し入会いたしました。

具体的な活動としては会員企業が参加する勉強会やシンポジウム、顕彰事業、海外企業との連携促進事業などを展開し、長寿企業の優れた経営手法を新たな企業価値として理論化、国内外に情報発信していくというものです。

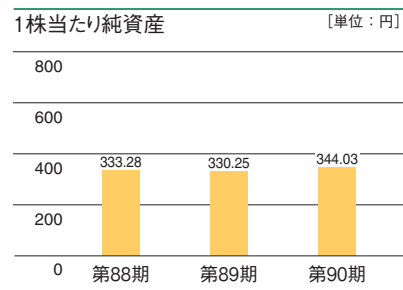
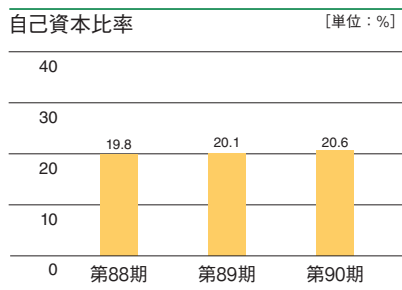
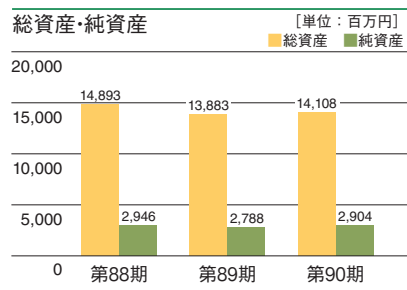
会員企業の皆様と議論を重ねながらさらなる経営強化を図り、今後も株主の皆様、顧客の皆様、従業員、取引先、地域社会を大切に、長期持続経営を実践してまいります。

連結財務データ

連結貸借対照表

[単位：百万円]

科 目	当 期	前 期	科 目	当 期	前 期
	平成24年 3月31日現在	平成23年 3月31日現在		平成24年 3月31日現在	平成23年 3月31日現在
(資産の部)			(負債の部)		
流 動 資 産	8,777	8,411	流 動 負 債	8,078	7,845
現金及び預金	3,042	2,882	支払手形及び買掛金等	2,615	2,650
受取手形及び売掛金等	4,374	3,934	短期借入金	4,607	4,410
たな卸資産	1,242	1,490	未払費用	436	441
その他	126	116	未払法人税等	35	26
貸倒引当金	△ 8	△ 12	設備関係支払手形	6	25
固 定 資 産	5,331	5,471	そ の 他	377	290
有形固定資産	3,004	3,261	固 定 負 債	3,126	3,249
建物及び構築物	924	1,090	長期借入金	938	1,161
機械装置及び運搬具	361	431	退職給付引当金	1,617	1,555
土地	1,678	1,678	そ の 他	570	532
建設仮勘定	6	1	負 債 合 計	11,204	11,095
その他	33	59	(純資産の部)		
無形固定資産	25	93	株 主 資 本	3,154	3,098
投資その他の資産	2,301	2,116	資 本 金	1,641	1,641
投資有価証券	1,735	1,515	資 本 剰 余 金	1,225	1,225
その他	627	654	利 益 剰 余 金	374	318
貸倒引当金	△ 62	△ 53	自 己 株 式	△ 86	△ 86
資 産 合 計	14,108	13,883	その他の包括利益累計額	△ 250	△ 310
			その他有価証券評価差額金	△ 227	△ 286
			為替換算調整勘定	△ 23	△ 24
			純 資 産 合 計	2,904	2,788
			負債及び純資産合計	14,108	13,883





連結損益計算書

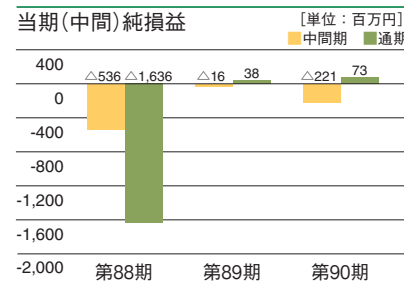
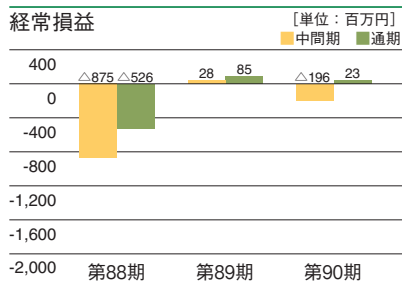
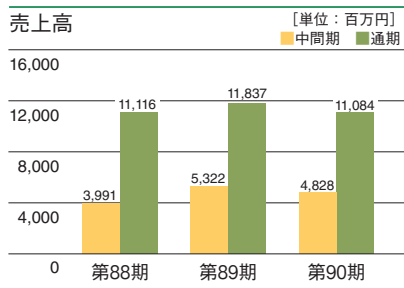
[単位：百万円]

科 目	当 期	前 期
	自 平成23年 4月 1日 至 平成24年 3月31日	自 平成22年 4月 1日 至 平成23年 3月31日
売 上 高	11,084	11,837
売 上 原 価	8,601	9,274
売 上 総 利 益	2,483	2,563
販売費及び一般管理費	2,449	2,476
営 業 利 益	33	86
営 業 外 収 益	116	124
営 業 外 費 用	126	126
経 常 利 益	23	85
特 別 利 益	146	—
特 別 損 失	66	25
税金等調整前当期純利益	103	60
法人税、住民税及び事業税	29	21
少数株主損益調整前当期純利益	73	38
当 期 純 利 益	73	38

連結キャッシュ・フロー計算書

[単位：百万円]

科 目	当 期	前 期
	自 平成23年 4月 1日 至 平成24年 3月31日	自 平成22年 4月 1日 至 平成23年 3月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	160	990
投資活動による キャッシュ・フロー	45	△ 100
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 45	△ 483
現金及び現金同等物の 増 加 額	159	405
現金及び現金同等物の 期 首 残 高	2,882	2,476
現金及び現金同等物の 期 末 残 高	3,042	2,882



会社の概況 Corporate Data

会社概要 (平成24年3月31日現在)

商号	昭和鉄工株式会社 Showa Manufacturing Co.,Ltd.
本社所在地	福岡市東区箱崎ふ頭三丁目1番35号
創業	明治16年10月2日
設立	昭和8年4月30日
資本金	16億4,100万円
従業員数	325名(連結410名)
主な事業内容	ファンコイルユニット・エアハンドリングユニット等の空調機器、業務用エコキュート・ボイラー・ヒーター・バーナー・オユシ等の熱源機器、循環温浴器・空気清浄機等の環境機器のほか、橋梁用防護柵等の景観製品、鋳造品、液晶パネル製造用熱処理炉等の製造販売及び給排水衛生設備等の設計・監理・施工の請負等
主な事業所	東京都大田区南六郷三丁目10番16号
東京支社	宇美工場、久山工場(以上福岡県粕屋郡)、古賀工場(福岡県古賀市)、札幌工場(石狩市)
工場	
営業所	札幌、仙台、北関東(さいたま市)、名古屋、大阪、広島、下関、九州(福岡県粕屋郡)、南九州(熊本市)、鹿児島
関係会社	朝日テック株式会社、昭和ネオス株式会社、昭和トータルサービス株式会社、大連氷山空調設備有限公司

役員 (平成24年6月27日現在)

取締役・監査役		
代表取締役	山本 駿一	
取締役	山田 治彦	
取締役	相賀 恒男	
取締役	寺倉 彰	
取締役	筋野 隆	
常任監査役	飯田 久泰	
監査役(常勤)	笠置 英明	
監査役	櫻井 文夫	
監査役	永利 新一	
執行役員		
社長 C E O	山本 駿一	
専務執行役員	山田 治彦	
専務執行役員	相賀 恒男	
常務執行役員	寺倉 彰	
執行役員	村山 正巳	
執行役員	吉次 善広	
執行役員	福田 俊仁	
執行役員	鍋山 敏郎	
執行役員	倉岡 淳	
執行役員	山根 謙治	

株式の状況 Stock Information

株式の状況 (平成24年3月31日現在)

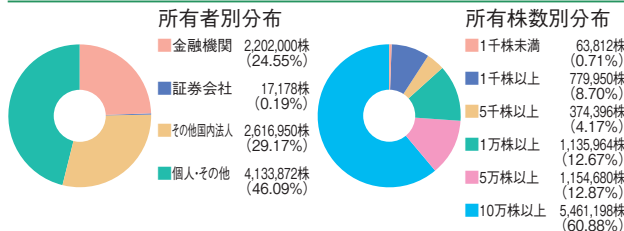
発行可能株式総数	24,000,000株
発行済株式の総数	8,970,000株
株主数	932名

大株主 (平成24年3月31日現在)

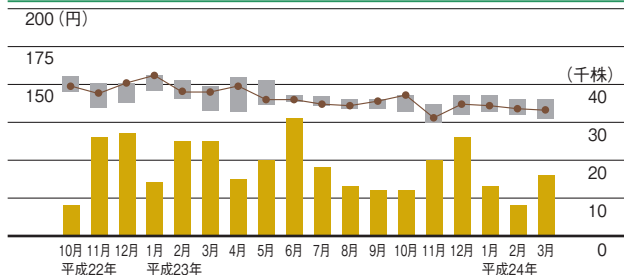
株主名	持株数	持株比率
三井金属鉱業株式会社	485,000株	5.74%
株式会社福岡銀行	415,500	4.92
株式会社西日本シティ銀行	400,000	4.73
株式会社北九州銀行	357,500	4.23
住友商事株式会社	345,000	4.08
飯田卓子	297,114	3.51
西日本鉄道株式会社	291,000	3.44
飯田久泰	267,000	3.16
稲田好美	198,135	2.34
日本乾溜工業株式会社	187,000	2.21

(注) 持株比率は、自己株式(528,449株)を控除して計算しております。

株式分布状況 (平成24年3月31日現在)



株価の推移





事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
株主総会の招集地	福岡市
基準日	定時株主総会の基準日 毎年3月31日 剰余金の配当の基準日 毎年3月31日 中間配当の基準日 毎年9月30日 その他必要あるときは、あらかじめ公告して定めます。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (お問合せ先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
公告方法	電子公告によります。 http://www.showa.co.jp/koukoku/index.html ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
単元株式数	1,000株

ホームページもご覧ください。

<http://www.showa.co.jp/>



株主様へのご案内

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

未払い配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

H·E·A·T·S

技術とモノづくりで
豊かな未来を

SHOWA